

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育実習指導 I Guidance and Evaluation on Child Care Practice I		1年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(保育士養成課程必修)	児童フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程必修科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程必修科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
高橋登美子、大塚登	授業中に示します	授業中に示します		授業中に指示します
授業の概要				
保育実習 I・II・IIIそれぞれの実習内容と特徴を知り、実習に臨む際に必要な様々な準備に向けて、授業内容を基に各自が責任を持って取り組む。保育実習の意義や目的を理解しながら、保育士の仕事や社会的役割も学習する。				
授業の目標				
①保育実習の意義・目的の理解に努め、自らの実習課題を明確に持つことができるようにする。 ②観察・実践・記録といった実習に向けての取り組みの方法ができるようにする。 ③保育学生としての挨拶、電話のかけ方、言葉遣い、必要書類の扱い方など、事前の準備ができるようにする。				
授業の方法				
前期では、実習に臨む保育学生としての態度や取り組み方など、基本的事項を学ぶ内容を中心として進める。また、複数教員の講義により、保育実習のそれぞれの実習の特徴を詳しく学ぶ。後期では、実際の実習に向けた具体的事項を学ぶ内容として進める。				
学習の成果 (学習成果)				
保育学生としての自覚を持って事前準備に取り組み、保育実習とはどのようなものなのかを認識しながらそれぞれが取り組む保育内容に順応した保育観察・部分実習・記録を取ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (通年科目としての授業の進め方、授業の出欠席や課題) (第1~30回高橋担当、第2~6回高橋・大塚担当)			
第2回目	【前期授業の内容】			
第3回目	○保育実習 I・II・IIIのそれぞれの実習内容と特徴や時期について			
第4回目	○保育実習 I の実習施設検討 (公立保育所・私立保育園)			
第5回目	○保育実習と教育実習の違いについて (管轄、対象年齢、資格、免許、実習内容、実習時間など)			
第6回目	○実習に臨む基本的事項			
第7回目	①実習依頼に関する依頼内容、電話のかけ方、言葉の遣い方について			
第8回目	②実習依頼に関する実習施設訪問について			
第9回目	③実習施設訪問時の実習依頼と実習届の記入と学校提出について			
第10回目	④実習施設における事前オリエンテーションの実施について			
第11回目	⑤実習生調査票に関する注意事項と記入			
第12回目	⑥実習事前準備の内容とその必要性について			

第13回目	○抗体検査結果表の取り扱いと保管の仕方・提示の方法について	
第14回目	○夏期休業中の一日体験実習・自主実習、紙芝居製作について	
第15回目	○保育実習の意義と目的の確認、プライバシーの保護・守秘義務について	
第16回目	ガイダンス（実習に向けての実践的な授業内容について、授業の出欠席と課題）	
第17回目	【後期授業の内容】	
第18回目	○実習に臨む基本的事項の確認と実習に向けての事前準備	
第19回目	①実習園の情報を基に実習計画を立てる	
第20回目	②実習園での実習に向けたねらいと目的を立てる	
第21回目	③実習園でのオリエンテーションに向けた事前準備をする（持参書類の記入と確認）	
第22回目	④実習日誌の取り扱いを知る（バインダーの活用、提出方法）	
第23回目	⑤実習日誌の記録の仕方を知る（記録の方法、記述内容の観点、表現の注意事項）	
第24回目	⑥実習日誌の記録に向けた準備を確認する（筆記用具、メモ帳の活用、専門用語、漢字表記）	
第25回目	⑦実習中の子との関わり方、保育者との関わり方を知る	
第26回目	⑧部分実習と責任実習について（指導案の扱い方、指導案の記入）	
第27回目	⑨腸内細菌検査実施について（検査キットの扱い方、送付準備、送付期日の確認）	
第28回目	○実習に向けた映像教材「保育者を目指すあなたへ」「低年齢児の保育全2巻」を見る	
第29回目	○実習計画に基づく課題と目的の確認（小テスト）	
第30回目	実習施設の保育形態や保育理念に応じた実習内容の確認と事前準備の確認	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合 評価の基準
	授業参加態度	30% 授業態度を実習態度と想定して授業に臨むことを求めるため、教員の指導を理解し取り組み、指導に応じる態度である。机上の整理に努めている。
	レポート	
	調査報告書	10% 夏期休業中一日体験実習を実施すること。実施後の実習内容は、子どもの気づき、保育者の取り組み、自分の今後への課題が明記してある。
	小テスト	10% 授業内容の確認と、実習に向けての準備内容の確認、日誌で用いる言葉や表現に関する小テスト。適切な用語や表現、漢字での記入ができています。
	試験	
	発表内容（態度含む）	30% 手作り「紙芝居」の製作と提出。実習において使用することを目的とするため、内容、配色、枚数等の考慮がされている。
	その他	20% 体験実習報告書と手作り紙芝居は期限内の提出ができています。
教科書と参考図書		
「保育実習の手引き」：佐野短期大学 「幼稚園・保育所実習パーフェクトガイド」：わかば社 教材研究や日誌記入に関して、必要な書籍の案内は随時行う。また、教員作成の資料を配布する。		
履修上の留意点・ルール		
保育学生として、社会的立場を考慮した履修態度を望む。実習指導の授業内容に必要な（携帯電話、飲食類、他科目課題等）と判断できるものは机上に置かない。通年科目ではあるが、後期15回の授業回数中5回以上の欠席が認められた際は実習を延期することも検討する。私語、居眠り等が著しい状況の場合、個別指導をする。		